

平成 28 年度沖縄県大学図書館協議会 (平成 28 年 9 月 14 日@名桜大学)

講演 名桜大学における「人の移動」研究について

公立大学法人名桜大学

附属図書館長 小川寿美子

はじめに

1. やんばる発「人の移動」研究の現代的意義
 - ・ポスト「人の移動と 21 世紀のグローバル社会」
 - ・やんばる住民は、県内の他地域と比べても移民として海外に渡った人が多い
 - ・「移民の父・當山久三」にまつわる史実
2. 名桜大学における「人の移動」研究について
 - ・名桜大学基盤形成事業 (H26~)
 - 6 班から構成 (中南米、北米、オセアニア、東アジア、東南アジア、沖縄地域)
 - ・Brazil : ロンドリーナ市における沖縄県系人の文化触変と挿入 (住江淳司・副学長)
 - ・Australia : 真珠貝採取ダイバーたちのみた夢と実現 (高嶺司・国際交流センター長)
3. 世界のウチナーンチュ大会と「地域貢献萌芽的プロジェクト」
 - ・嘗て海外へと「移動」したウチナーンチュ家族とネットワーク構築
 - 研究者 11 名、学内外共同研究者・連携協力者から構成
 - ・移動者の情報拠点
 - ルーツ探し : ハワイ・仲間 G 氏
 - 海外県人会資料の翻訳、冊子化の支援 : カナダ・アルバータ州
 - 沖縄 & 世界のウチナーンチュの現状に興味津々
 - ・世界若者ウチナーンチュ大会、市町村イベントでの基盤づくり
4. これからの大学附属図書館の役割と将来構想
 - ・インターネットの普及によるアクセス易、図書館の立ち位置は？
 - ・貴重コレクションのリスト公開 (湧川清榮 5167 点, Josef Kreiner 412 点)
 - ・本大学附属図書館増改築計画
 - 16 万冊から 30 万冊収納可能なスペースへ
 - コンセプトは『個性』『知性』『感性』を育む空間
 - ・やんばる・人の移動資料室 (案) の立ち上げ構想
 - 世界のウチナーンチュ・やんばる特派員の募集
 - 資料のデジタル化、人の移動コレクションの館内展示
 - 沖縄県系移民 & 移住者と双方向関係を築く (ルーツ探し支援 vs インタビュー)
 - 『やんばる物語ー人類の普遍的課題なる<人の移動>』(仮題) の編纂